



第6回通常総代会 議案ダイジェスト

コープみらいは、6月7日(木)に第6回通常総代会を開催します。通常総代会は、組合員の代表である総代が参加し、コープみらいの年度方針などの重要事項について意思決定を行う会議です。第6回通常総代会で議決をいただく議案をダイジェストでお伝えします。

第1号議案

2017年度
事業報告承認の件
「ビジョン2025」の実現に向けて取り組んだ
事業と活動について確認いただきます。

商品・品質保証の取り組み

食の「安全と安心」を第一に考え、品質保証の取り組みを継続しました。



コープならではの品ぞろえを積極的に進め、産直商品を原料とした商品開発を進めました。



子育て世帯の応援商品として開発された「CO-OPきらきらステップシリーズ」は、試作段階で子育て中の組合員さんにご意見を聞いて開発しました。



商品検査の充実を図るため、コープデリ連合会は商品検査センターを移転し、見学もできるよう準備を進めました。

コープデリ宅配事業

「つかうほど、じぶんらしく。」を基本メッセージとして、コープのファンづくりに向けて取り組みました。



組合員一人ひとりにあった商品案内・OCR注文用紙の刷新、クーポン発行などを行いました。子育て割引制度を1月より変更しました。



カット済み食材と調味料をセットにした料理キットは、ニーズの高まりを受け、総称を「コープデリ・ミールキット」としてより多くの方に利用していただけるよう取り組んでいます。



宅配の取り扱い商品数を増やすために、コープデリ連合会では千葉県野田市に「野田船形物流センター」を開設しました。

※2025年のコープのありたい姿を展望して、「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」というビジョンを、第2回通常総代会(2014年)で決定しました。

総代会ってなあに？

コープは、「こんな商品が欲しい!」「こんなサービスがあったらいいな」という声を実現するために、組合員が出資し、利用し、組合員自身が主人公となって運営に参加する組織です。事業の計画なども組合員が決定します。

しかし、コープみらいの組合員340万人が一度に集まるのは困難なため、各地域で組合員の代表である「総代」を選び、選ばれた総代が参加する「総代会」を開いています。年一回、6月に「通常総代会」を開催し、「1年間の事業や活動はどうだったか」ということを振り返り、「次の1年、どんな事業や取り組みを行うか」という方針や、予算などを決定します。

通常総代会に向けて、地域ごとに話し合いを進めています

総代の任期は1年。各地域(22のブロック)で開催するブロック別総代会議で、6月の通常総代会に向けた話し合いを進めます。

6月~7月
総代選挙

9月
総代懇談会

11月
ブロック別総代会議

翌年3月
ブロック別総代会議

翌年5月
ブロック別総代会議

翌年6月
通常総代会

通常総代会に向けてブロックごとに事前の話し合いを進めます

総代による議案の議決

参加とネットワークの取り組み

活動と事業との連携を通じ、食育や地域のつながりづくり、貧困・格差拡大などさまざまな課題の解決に向けて取り組みを進めました。



いつでも・どこでも・誰でも、気軽に参加、交流できる、笑顔あふれる居場所として「みらいひろば」が広がっています。



コープみらい財団では、経済的理由で高校や高等専門学校の修業が困難なひとり親家庭への支援として、返済不要の「奨学金給付事業」を開始しました。

福祉・保障・サービス・電気小売事業

- ・福祉事業では、住み慣れた場所で自分らしくくらするために、在宅での介護サービスの提供を行いました。
- ・保障事業は、CO・OP共済を推進し、商品改訂のお知らせやWEBでの加入推進などに取り組みました。地域・組合員から一番に選ばれ、世帯の保障の中心となる保障事業を目指しました。
- ・サービス事業では、コンサートやお芝居、展覧会などのチケット販売、エアコンクリーニング、葬祭サービスなどを提供しました。



電気小売事業「コープデリでんき」を新たに開始し、23,000名を超える組合員にご利用いただいています。

コープデリ店舗事業

「おいしさと安心を、うれしい価格で。」の取り組みを深め、くらしの変化に対応した品ぞろえと売場づくりを進めました。



コープ中野鷺宮店、コープ東村山秋津町店を出店しました。全面改装を5店舗で、部分改装を3店舗で実施しました。



コープデリ大宮デリカセンターでは、おにぎり、煮物や巻き寿司など惣菜のこだわり商品を開発するとともに、店舗での製造作業の軽減を図りました。

■損益の状況(2017年3月21日～2018年3月20日)

	実績
総事業高	3,898億 1,117万円
供給高	3,785億 8,885万円
宅配商品供給高	2,673億 8,823万円
店舗商品供給高	1,103億 3,358万円
経常剰余金	59億 2,093万円
組合員数	341万 3,755人

■剰余金処分案

出資配当金は、0.2%とします(出資配当金の支払いは、出資金振替によって実施します)。また、災害等に備えるための積立を行います。

■資産・負債・純資産の状況(2018年3月20日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	796億 217万円	流動負債	536億 7,694万円
		固定負債	84億 148万円
固定資産	1,203億 9,211万円	純資産の部	
		出資金	671億 1,684万円
		剰余金	707億 9,901万円
資産合計	1,999億 9,428万円	負債・純資産合計	1,999億 9,428万円

※各項目の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

第3号議案

役員選任規約の一部変更の件

将来にわたる組織の継続的發展を図る観点から、役員選任規約の一部を変更することを提案します。

※第6回通常総代会の開催報告は、『コープみらい』8月号に掲載します。

・福祉事業は住み慣れたところで自分らしくくらするよう、在宅での自立支援サービスの提供を強化します。保障事業はCO・OP共済や保険の推進活動を積極的に進め、組合員のくらしの安心に貢献します。サービス事業は、くらしにあった企画と確かな品質で満足いただけることを目指します。

・電気小売事業は、F・I・T電気メニユーの特長をそれぞれわかりやすくお知らせし、新規利用者を増やす取り組みを進めます。

・コープデリ店舗事業は、「おいしさと安心を、うれしい価格で。」の取り組みをさらに深め、組合員のふだんのくらしに貢献して損益構造の改善に取り組みます。

・事業と参加とネットワークの活動の連携で、くらしと地域づくりを推進します。多様な参加の場を活かし、コープの良さ・価値を伝える取り組みでコープのファンづくりを進めます。

・食の「安全と安心」を第一に考え、生産から消費までのフードチェーン全体で安全性確保に取り組み、品質管理をさらに推進します。

・コープデリ宅配事業は、「いい商品がたくさんあつて選べるからいい、使って(いて)良かった」と感じていただくことを目指し、ファンづくりをさらに進めます。

第2号議案

2018年度事業計画・予算設定の件

食を中心とした事業と活動を通じ、多くの方に共感いただき、コープのファンになっていただける取り組みを進めます。くらしや地域に貢献できる取り組みを通じて「ビジョン2025」の実現を目指します。

■2018年度損益予算案

総事業高	3,910億 858万円
供給高	3,821億 6,884万円
経常剰余金	27億円